

香川県におけるコウライアカシタビラメの成長

【はじめに】「セゲタ」、「マゲタ」、「ゲタ」と香川県で呼ばれているウシノシタ類の1種のコウライアカシタビラメは、備讃瀬戸を中心に海底が礫や砂の場所に棲んでいます(写真1)。小型底びき網の漁業者の中には、このコウライアカシタビラメを狙って獲っている人もいます。重要な魚ですが、寿命や1年間にどれくらい成長するかといったことについては、あまり調べられていませんでした。今回は、魚の頭にある耳石という骨を用いて、コウライアカシタビラメの年齢と成長を調べた結果を紹介します。



写真1 コウライアカシタビラメ

【方法】小型底びき網で獲れたコウライアカシタビラメの全長と体重を測り、耳石(扁平石)を取り出しま

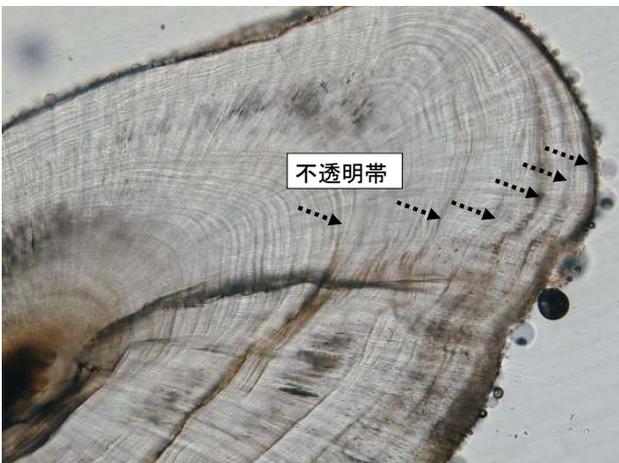


写真2 耳石切片の不透明帯

した。そして、取り出した耳石をポリエステル樹脂で包埋し、厚さ0.3mmの横断面の切片を作成し、不透明帯を数えました(写真2)。

【結果】耳石の観察から、不透明帯が産卵期に年1本形成され、「不透明帯=年齢」が確認されました。不透明帯の数から、サンプル中の雄と雌の最高年齢が、それぞれ6才と5才であり、1才と2才が主に漁獲されていることが分かりました。全長と年齢の関係から、雄より雌の方が大きくなり、成長もよいことが明らかとなりました(図1、表1)。

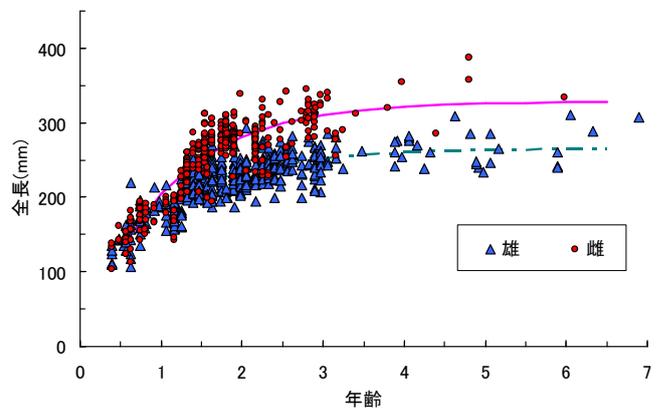


図1 コウライアカシタビラの成長

表1 コウライアカシタビラメの年齢ごとの全長と体重

年齢	全長(mm)		体重(g)	
	雄	雌	雄	雌
1	186	205	35	49
2	233	281	70	136
3	252	310	90	187
4	260	321	100	210

【資源管理】コウライアカシタビラメの漁獲量を少しでも多くするために、多くの小型底びき網の漁業者が、全長20cm以下の小型魚を再放流しています。

【参考文献】山本昌幸・片山知史・牧野弘靖・竹森弘征(2008)瀬戸内海中央部におけるコウライアカシタビラメの年齢、成長および漁獲年齢組成。水産海洋研究,72,174-181.

(文責 主任研究員 山本昌幸)